

2008年1月7日

報道各位

株式会社ジャパンエナジー
三菱化学株式会社
三菱商事株式会社

石油化学製品生産設備の営業運転開始について

1. 株式会社ジャパンエナジー（本社：東京都港区虎ノ門二丁目，社長：松下功夫，以下「Jエナジー」），三菱化学株式会社（本社：東京都港区芝五丁目，社長：小林喜光，以下「三菱化学」）および三菱商事株式会社（本社：東京都千代田区丸の内二丁目，社長：小島 順彦，以下「三菱商事」）は，3社の合弁会社である鹿島アロマティックス株式会社（本社：東京都港区虎ノ門二丁目，社長：内田幸雄，以下「鹿島アロマ」）を通じて，Jエナジー子会社の鹿島石油株式会社鹿島製油所（所在地：茨城県神栖市）内に石油化学製品生産設備を建設してまいりましたが，このたび，無事設備が完成し，去る1月4日に営業運転を開始しました。

2. 新設した設備等の概要は次のとおりです。

- (1) 設備建設場所：鹿島石油鹿島製油所内（所長：古山富夫，所在地：茨城県神栖市）
- (2) 主要生産設備：第1コンデンセート蒸留装置（60千バレル/日）
（生産能力） 第2パラキシレン製造装置（42万トン/年）
第3接触改質装置（20千バレル/日）
第1芳香族溶剤抽出装置（19万トン/年）
第2トランスアルキレーション装置（15千バレル/日）
- (3) 主要生産品目：パラキシレン（約42万トン/年），ベンゼン（約19万トン/年），
軽質ナフサ（約85万KL/年），灯・軽油留分（約100万KL/年），
プロパン（約3万トン/年），ブタン（10万トン/年）等
- (4) 工 期：2006年9月15日～2007年9月30日
- (5) 設備投資額：約700億円
- (6) コントラクター：日揮株式会社，千代田化工建設株式会社，日陽エンジニアリング株式会社

3. 本プロジェクトは，コンデンセート（天然ガス随伴原油）からパラキシレンやベンゼン等の芳香族（アロマ）製品および軽質ナフサ等を生産する設備を建設し，アロマ製品をJエナジーが，軽質ナフサを三菱化学がそれぞれ引き取るものです。三菱商事は，コンデンセートの調達およびアロマ製品の販売に関する協力を行います。また，鹿島アロマの操業は，鹿島石油が全面的に受託し，同社鹿島製油所の既存設備との一体最適運転を図ります。

以上

（ご参考）鹿島アロマの概要

社 名：鹿島アロマティックス株式会社（英文名：Kashima Aromatics Co.,Ltd.）
本 社：東京都港区虎ノ門二丁目
社 長：内田幸雄（Jエナジー常務執行役員）
資本金及び資本準備金：200億円（Jエナジー 80%，三菱化学 10%，三菱商事 10%）
事業内容：パラキシレン，ベンゼン，軽質ナフサ等の製造販売
売上規模：年間約1,400億円（2008年度予想値）

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ジャパンエナジー	総務人事部（広報担当）	TEL：03-5573-6100
三菱化学株式会社	広報・IR室	TEL：03-6414-3730
三菱商事株式会社	広報部	TEL：03-3210-3448